



# おいちよう

令和3年12月24日

発行 鶴瀬小学校No.11

049-251-0144・0149

文責：校長 武田圭介

学校教育目標 かしこく《学ぶ》 やさしく《和す》 たくましく《鍛える》

鶴っ子のめあて

にこにこ

きびきび

ぴかぴか



分散登校から始まった2学期でしたが、行事を含めて可能な限り例年に近い形で教育活動を進めるよう努めてまいりました。このような中、子どもたちは日々の学校生活を通して大きく成長し、一段とたくましくなったと感じています。登校時の「目を見ておじぎをする」あいさつも定着してきました。自主学习ノートの提出も1学期49冊に対し、2学期はおよそ200冊校長室に届けられました。特に12月だけで100冊以上。子どもたちの中で何かが変わってきています…。

長かった2学期も、本日の終業式をもって終わりです。今学期も、保護者、地域のみなさまに、変わらぬご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

## 新たな年を迎えるにあたって！

学校では、冬休みを前に、子どもたち一人ひとりが2学期を振り返り、自己の成長を見つめなおす時間をとりました。ぜひご家庭においても学級そして個人としてどんな2学期であったか、どんな成長があったのかを話題にさせていただくと幸いです。

振り返る中で、できるようになったこと、改善されたこと、伸びたこと、継続できたことなどを確かめ、子ども自身に自覚を促していくことが次の成長へとつながっていきます。また、それが自分を認め、がんばってきたことへの喜びや達成感を実感したり、やればできるという自己有能感を高めたりすることにつながっていきます。子どもたちはまだ、長い期間の足跡を振り返ることが難しいので、学習や行事について聞き返しながら自分で話ができるよう支援をお願いします。

さて、明日から冬休みです。お雑煮がその地方の食文化・風土・歴史によって食材・味付が異なるように、各ご家庭にも年末・年始のそれぞれの過ごし方があると思います。冬休みだからこそ、家庭という集団生活の中で我が子とのかかわりをいつも以上に深め、家庭生活においても社会性を育てていただきますようお願いいたします。

「1年の計は元旦にあり」新しい年、そして3学期に向けて、次なる成長のために、新たな目標もたてていきましょう。

## 楽しい冬休みにするために！

楽しい冬休みを過ごすためには、何より「健康」と「安全」が大切です。お子様の健康管理はもとより、交通安全、不審者対応では、お子様に注意を促す声かけをするなど、保護者のみなさまのご協力をお願いいたします。また、冬休みは子どもたちが地域で過ごす機会も多くなるかと思えます。地域の皆様には、冬休みも本校の子どもたちを温かく見守っていただければありがたく存じます。令和3年、お世話になり、ありがとうございました。よいお年を…